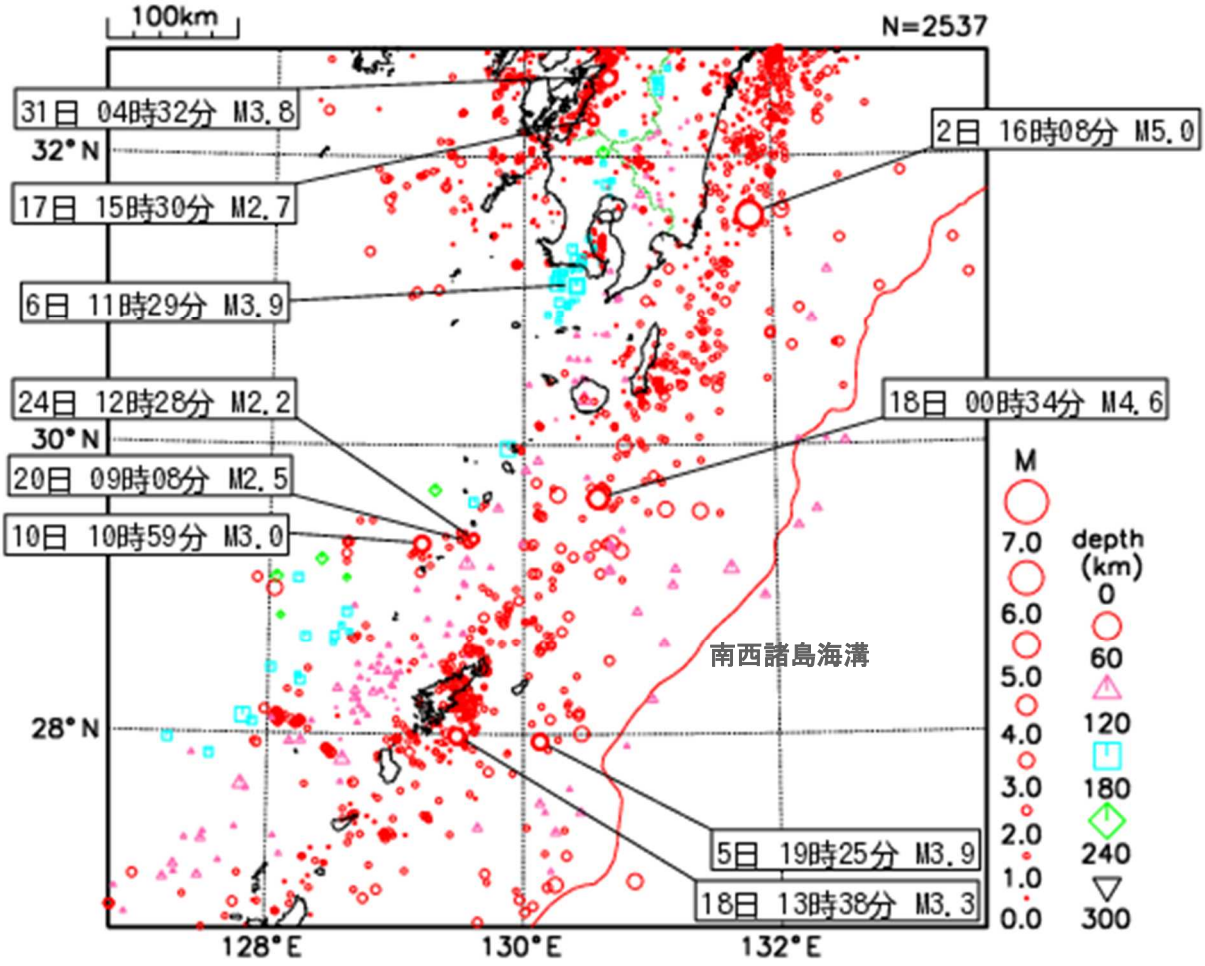
鹿児島県の地震活動概況（2022年5月）

令 和 4 年 6 月 9 日
鹿児島地方気象台

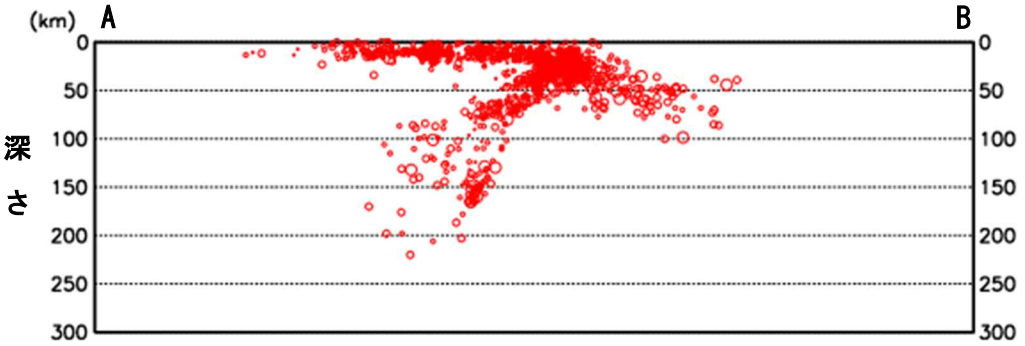
概　要

5月に鹿児島県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震の回数は10回でした（4月は14回）。このうち、2日16時08分に日向灘で発生したM5.0の地震により鹿屋市、大崎町、肝付町で震度3を観測しました。



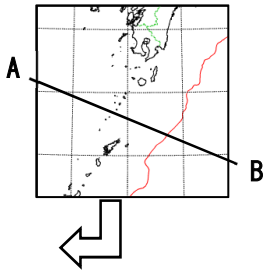
震央分布図（2022 年 5 月 1 日～31 日、深さ 0～300 km、M0.0 以上）

地震の規模（マグニチュードM）は記号の大きさで、震源の深さを記号と色で示しています。
図中の枠内は、県内で最大震度 1 以上を観測した地震の発生日時とマグニチュード(M)を示しています。



断面図（右図の A-B 投影、深さ 300 km以浅）

断面の A-B 投影概念図

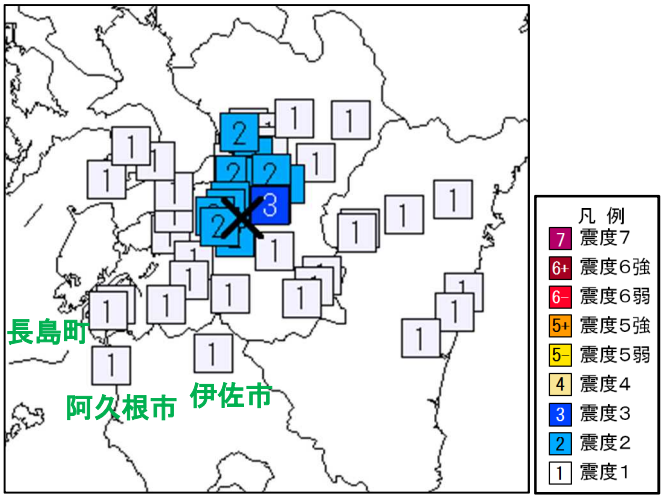


本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS） の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

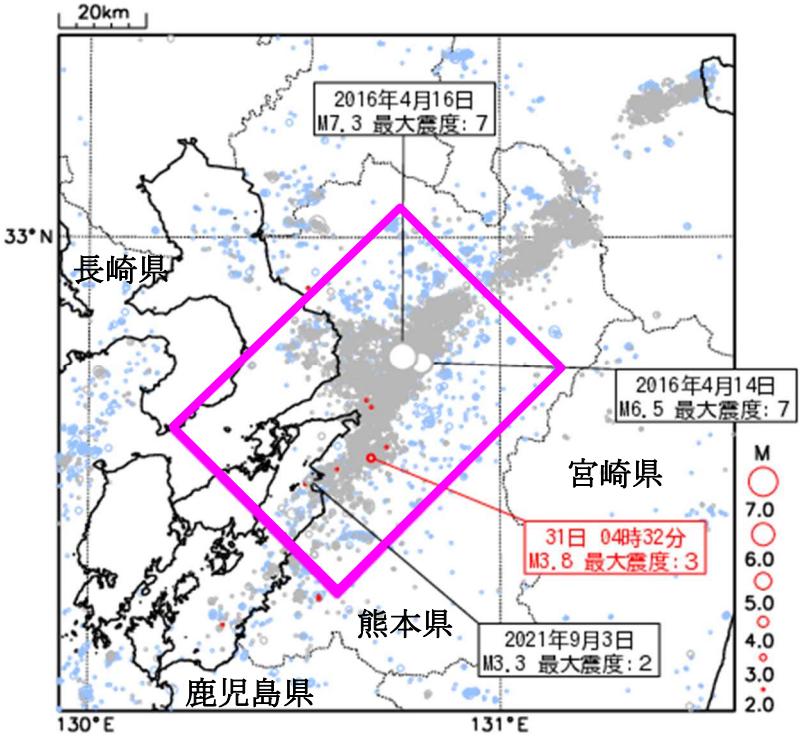
熊本県熊本地方

31日04時32分に発生した M3.8の地震（深さ9km）により、熊本県八代市で震度3を観測したほか、熊本県、長崎県、宮崎県、鹿児島県で震度2～1を観測しました。県内では、阿久根市、伊佐市、長島町で震度１を観測しました。

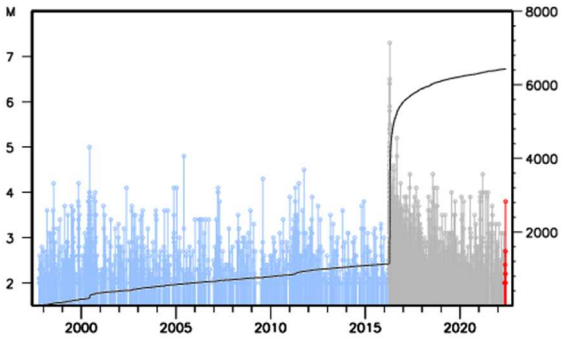
今回の地震の震央付近（震央分布図矩形領域）では、「平成28年（2016年）熊本地震」が発生しており、最近では2021年9月3日に発生したM3.3の地震（深さ12km）により、熊本県上天草市で震度2を観測したほか、県内では、長島町で震度1を観測しています。



震度分布図（観測点別、× ：震央）
31 日 04 時 32 分　M3.8



震央分布図
（1997 年 10 月 1 日～2022 年 5 月 31 日、
深さ 0～20km、M2.0 以上）
赤色は 5 月に発生した地震

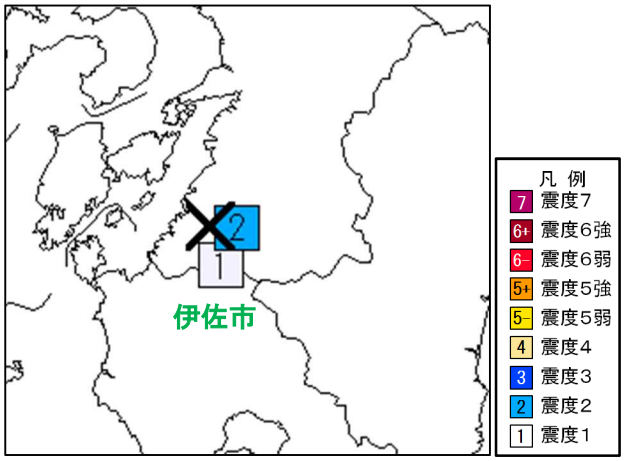


左図矩形領域の地震活動経過図
および回数積算図

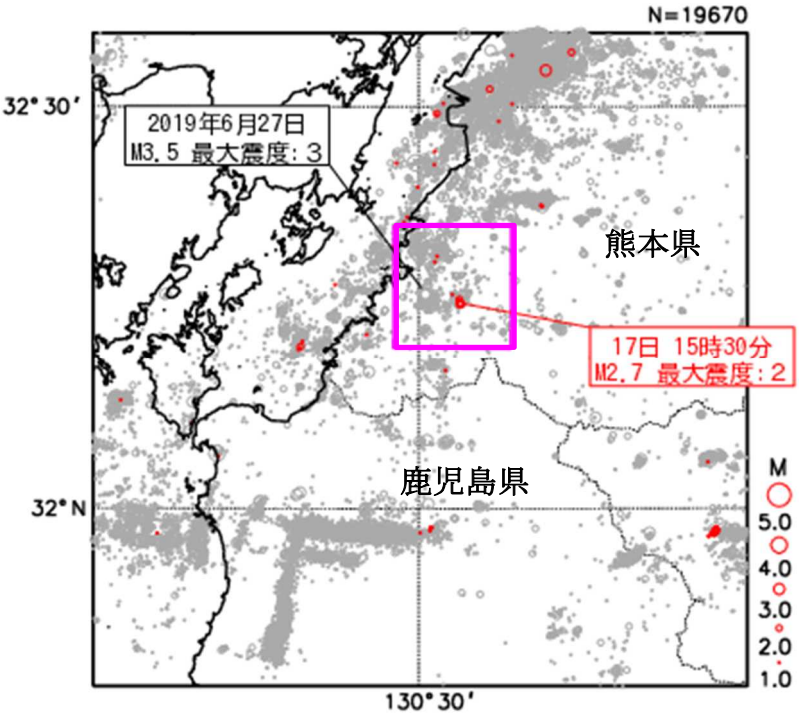
熊本県天草・芦北地方

17日15時30分に発生した M2.7の地震（深さ8km）により、熊本県球磨村で震度2を観測したほか、鹿児島県伊佐市で震度1を観測しました。

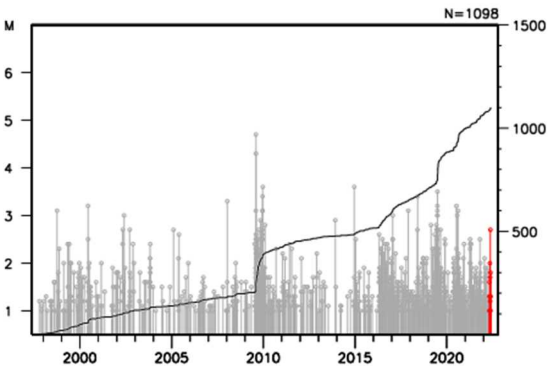
この地震の震央付近（震央分布図矩形領域）は普段から地震活動が見られる領域で、最近では2019年6月27日に発生した M3.5の地震により、熊本県芦北町で震度3を観測したほか、県内では、阿久根市、出水市、薩摩川内市などで震度1を観測しています。



震度分布図（観測点別、×：震央）
17 日 15 時 30 分　M2.7



震央分布図
（1997 年 10 月 1 日～2022 年 5 月 31 日、
深さ 0～20km、M1.0 以上）
赤色は 5 月に発生した地震

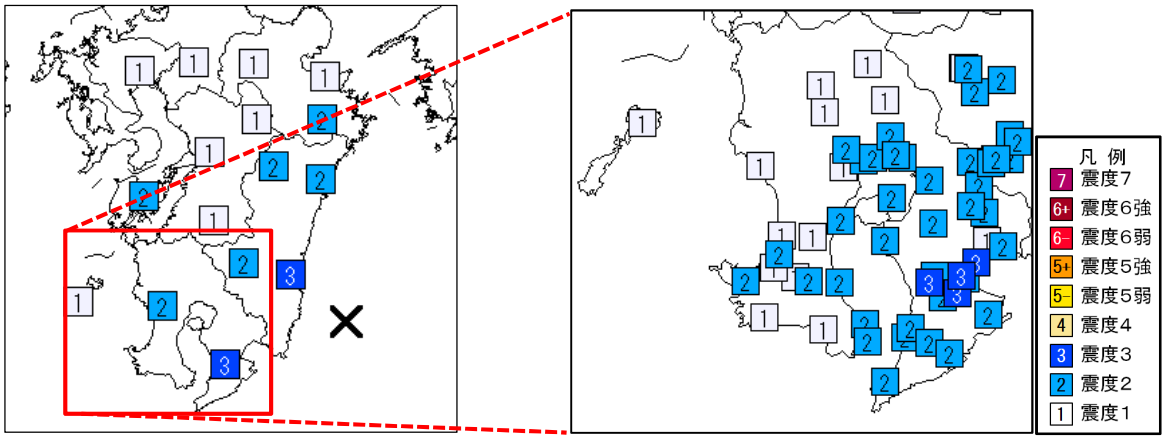


左図矩形領域の地震活動経過図
および回数積算図

日向灘

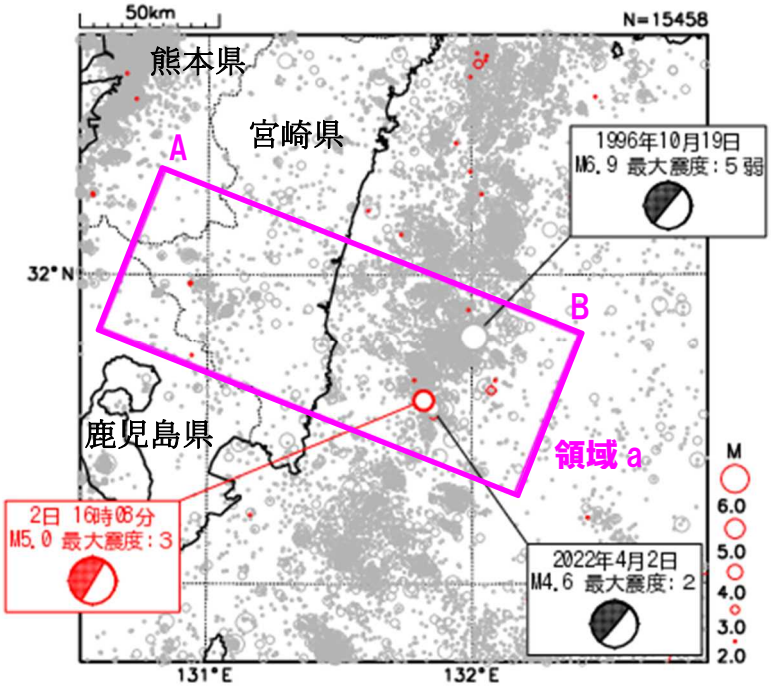
2日16時08分に発生した M5.0の地震（深さ22km）により、鹿児島県の鹿屋市、大崎町、肝付町と宮崎県の宮崎市、日南市、串間市で震度3を観測したほか、九州地方で震度2～1を観測しました。この地震は、発震機構（CMT 解）が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型でフィリピン海プレートの陸のプレートの境界で発生しました。

この地震の震源付近（断面図領域 b）は日頃から地震活動が見られる領域で、最近では、2022年4月2日に発生した M4.6の地震（深さ22km）により、県内では、霧島市、鹿屋市、志布志市などで震度1を観測しています。また、1996年10月19日に発生した M6.9の地震（深さ34km）では最大震度5弱を観測（鹿児島県では鹿屋市などで震度5弱）し、高知県の室戸岬で最大14cmの津波を観測し、県内では、種子島（旧：田之脇）で最大9cm の津波を観測しています。

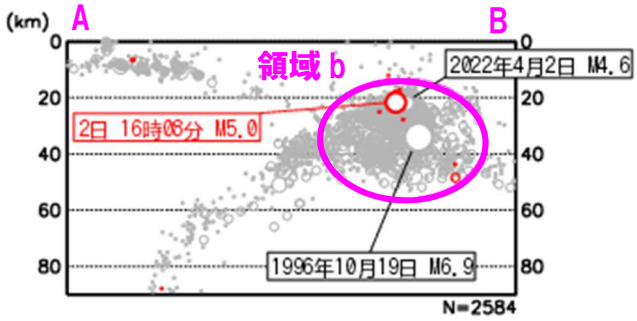


【鹿児島県内市町村別震度】
震度 3：鹿屋市、大崎町、肝付町
震度 2：鹿児島市、指宿市、南さつま市、霧島市、南九州市、姶良市、垂水市、東串良町、錦江町、南大隅町、曽於市、志布志市
震度 1：枕崎市、薩摩川内市、さつま町、日置市、いちき串木野市、伊佐市、薩摩川内市甑島

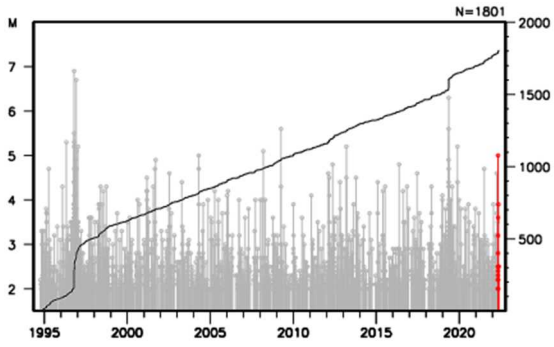
震度分布図（左：地域別、右：観測点別、×：震央）
2 日 16 時 08 分　M5.0



震央分布図
（1994 年 10 月 1 日～2022 年 5 月 31 日、
深さ 0～90km、M2.0 以上）
赤色は 5 月に発生した地震



左図領域 a の断面図（A-B 投影）

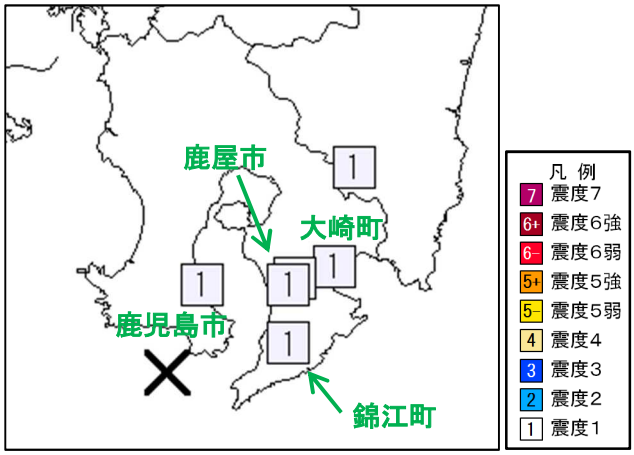


上図領域 b の地震活動経過図
および回数積算図

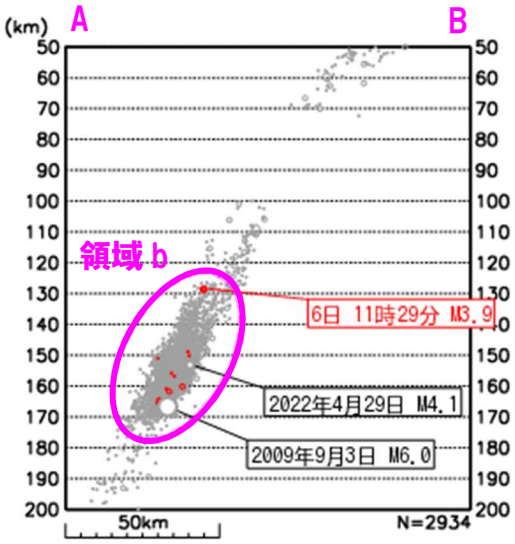
薩摩半島西方沖

6日11時29分に発生した M3.9の地震（深さ129km）により、鹿児島県の鹿児島市、鹿屋市、大崎町、錦江町と宮崎県都城市で震度1を観測しました。

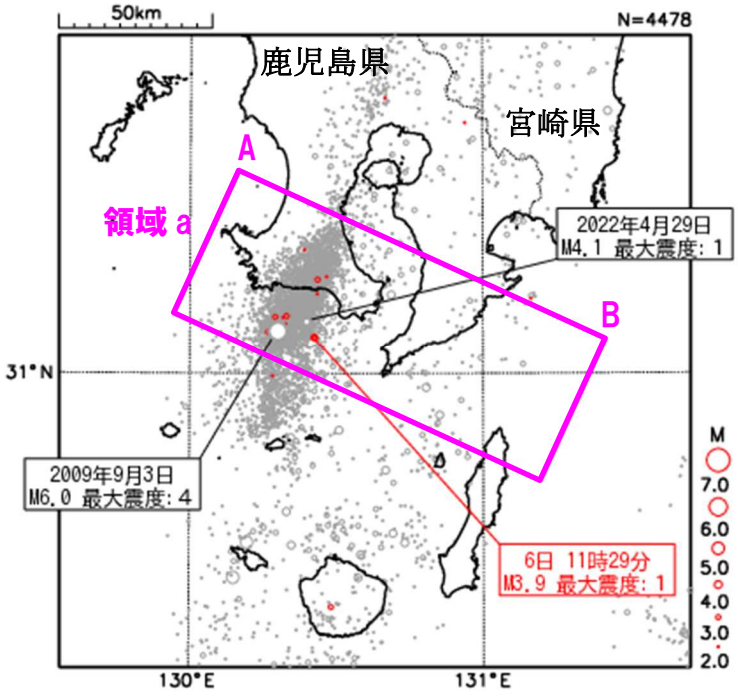
この地震の震源付近（断面図領域 b）は日頃から地震活動が見られる領域で、最近では2022年4月29日に発生した M4.1の地震（深さ153km）により、鹿児島県の鹿児島市、鹿屋市、曽於市、大崎町、宮崎県などで震度1を観測しています。また、2009年9月3日に発生した M6.0の地震（深さ167km）では、宮崎県都城市で震度4を観測したほか、県内では、鹿児島市、鹿屋市、大崎町、錦江町などで震度3を観測しています。



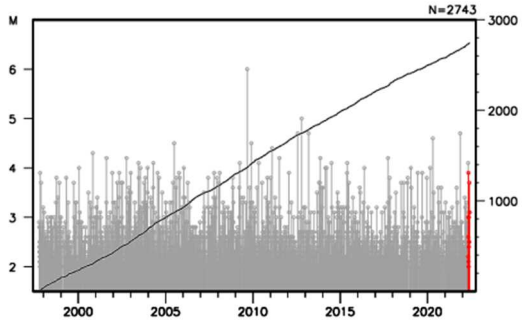
震度分布図（観測点別、×：震央）
6日 11時 29分　M3.9



左図領域 a の断面図（A-B 投影）



震央分布図
（1997 年 10 月 1 日～2022 年 5 月 31 日、
深さ 50～200km、M2.0 以上）
赤色は 5 月に発生した地震

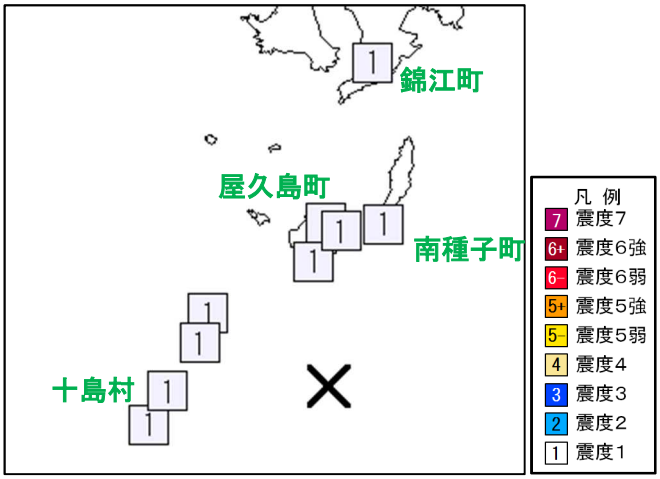


上図領域 b の地震活動経過図
および回数積算図

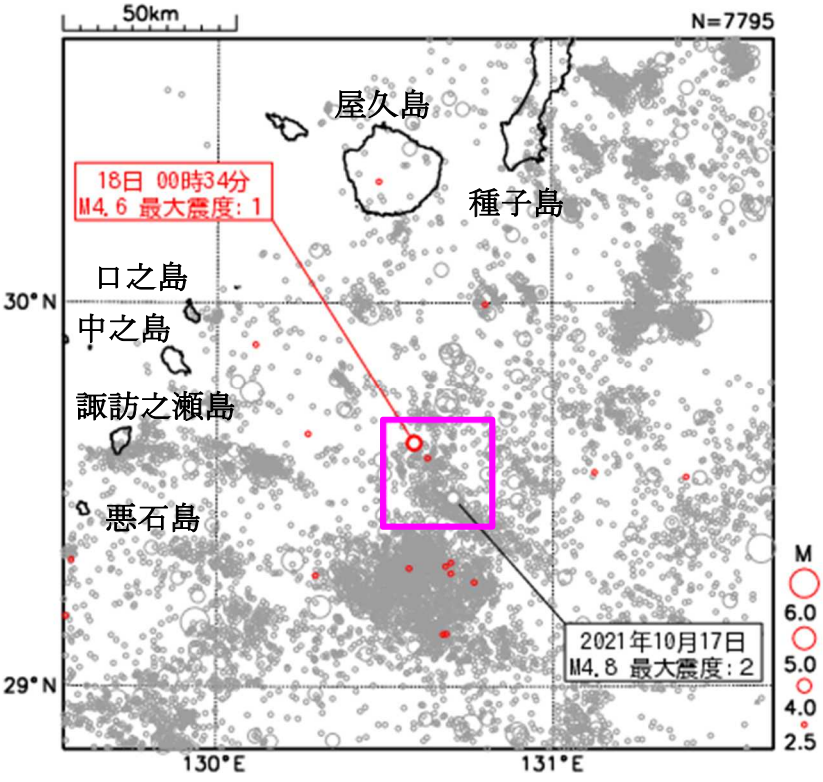
奄美大島北東沖

18日00時34分に発生した M4.6の地震により、錦江町、屋久島町、南種子町、十島村（中之島、口之島、諏訪之瀬島、悪石島）で震度1を観測しました。

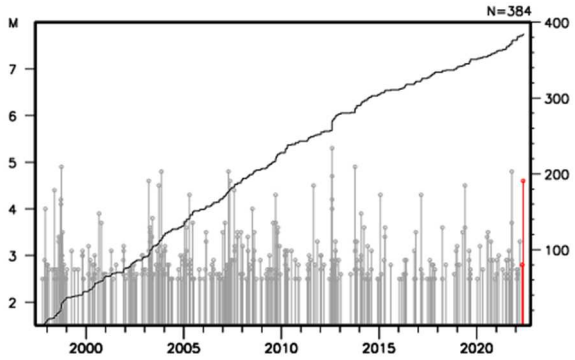
この地震の震央付近（震央分布図矩形領域）は日頃から地震活動が見られる領域で、最近では2021年10月17日に発生した M4.8の地震により、十島村（諏訪之瀬島）で震度2を観測しています。



震度分布図（観測点別、×：震央）
18 日 00 時 34 分　M4.6



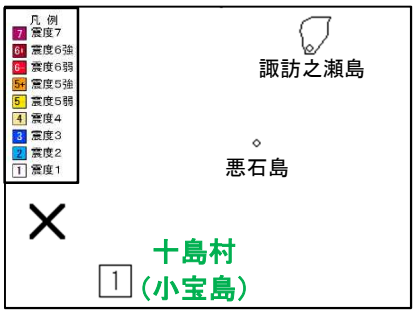
震央分布図
（1997 年 10 月 1 日～2022 年 5 月 31 日、
深さ 0～90km、M2.5 以上）
赤色は 5 月に発生した地震



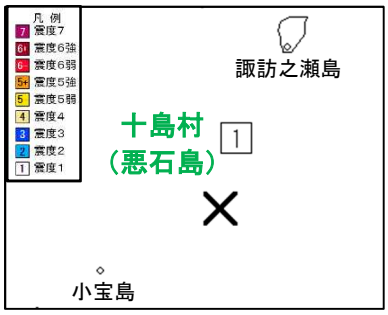
左図矩形領域の地震活動経過図
および回数積算図

トカラ列島近海

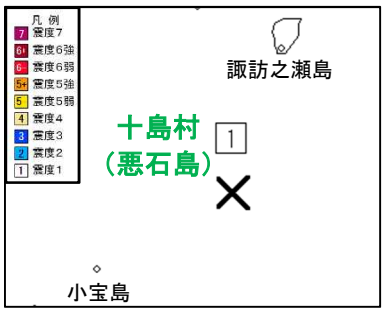
10日10時59分に発生したM3.0の地震により、十島村（小宝島）で震度1を観測しました。
また、20日09時08分に発生した M2.5の地震と24日12時28分に発生した M2.2の地震より、十島村（悪石島）で震度1を観測しました。
この地震の震央付近（震央分布図矩形領域）は時々まとまった地震活動が見られる領域で、最近では2022年4月17日に発生したM2.3の地震により、十島村（悪石島）で震度1を観測しています。
また、2021年12月に地震活動が活発となり、震度1以上を観測した地震が308回発生しました。これらのうち最大規模の地震は12月9日に発生した M6.1の地震で、十島村（悪石島）で震度5強を観測しています。



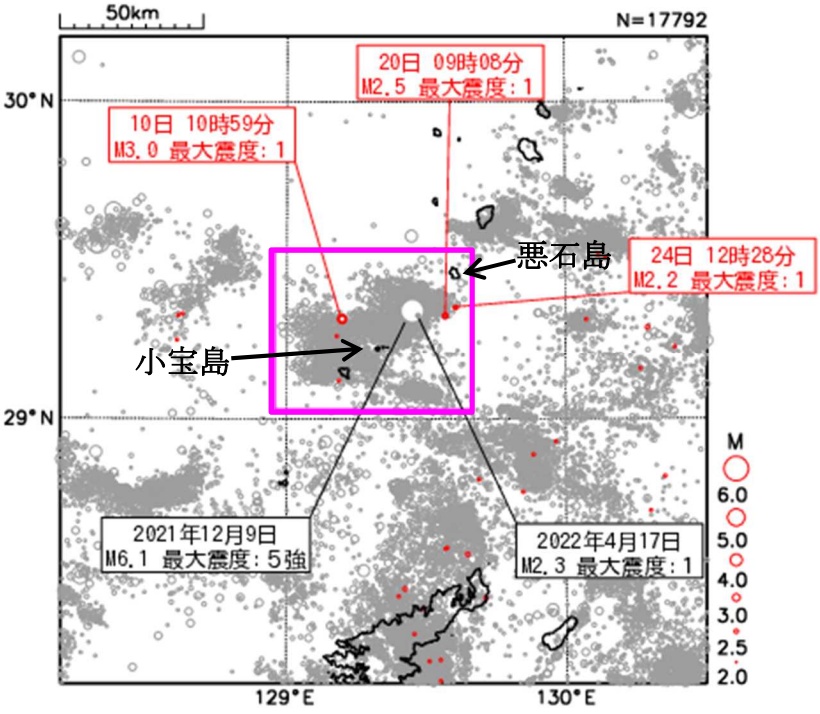
震度分布図（観測点別、×：震央）
10日10時59分　M3.0



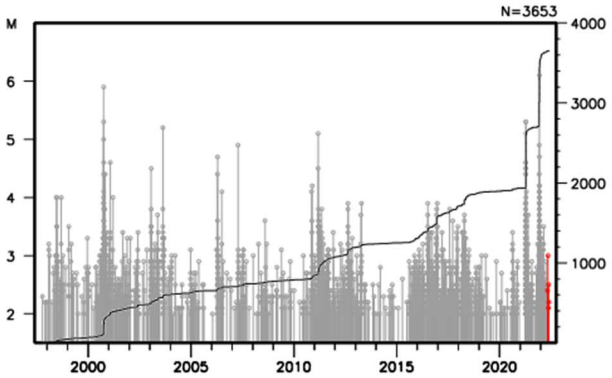
震度分布図（観測点別、×：震央）
20日09時08分　M2.5



震度分布図（観測点別、×：震央）
24日12時28分　M2.2



震央分布図
（1997年10月1日～2022年5月31日、
深さ0～50km、M2.0以上）
赤色は5月に発生した地震



左図矩形領域の地震活動経過図
および回数積算図

奄美大島近海

【5日19時25分の地震】

5日19時25分に発生したM3.9の地震により、奄美市と喜界町で震度1を観測しました。

この地震の震央付近（震央分布図領域 a）は日頃から地震活動が見られる領域で、最近では2022年3月6日に発生したM5.1の地震により、喜界町で震度3を観測しています。

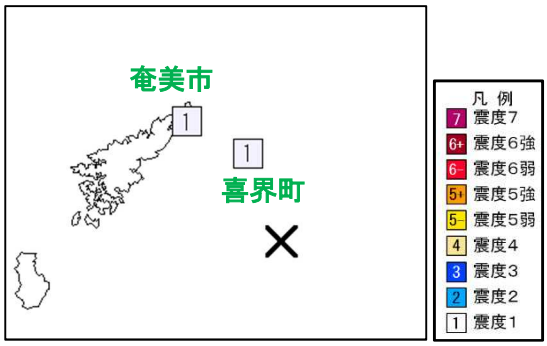
この領域では1995年10月18日に M6.9の地震が、同月19日に M6.7の地震が発生し、いずれの地震でも喜界町で震度5（※）を観測し、負傷者1名、住家一部損壊4棟などの被害が生じています（「日本被害地震総覧」による）。また、これらの地震により鹿児島県の中之島で最大の高さ43cm の津波を観測するなど、関東から沖縄にかけての太平洋沿岸で津波を観測しました。

※現在とは震度観測点、震度階級が異なる点に留意願います。

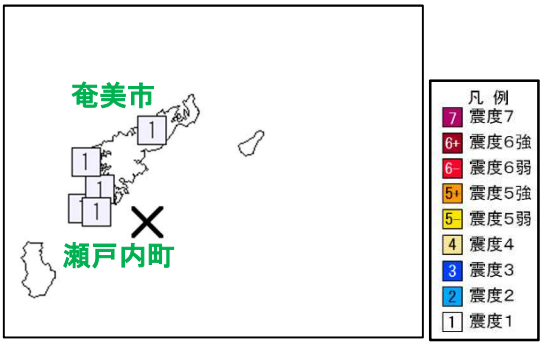
【18日13時38分の地震】

18日13時38分に発生した M3.3の地震により、奄美市と瀬戸内町（請島、与路島、加計呂麻島含む）で震度1を観測しました。この地震の震央付近（震央分布図領域 b）は、日頃から地震活動が見られる領域で、最近では、2022年2月9日に発生した M3.3の地震により、瀬戸内町（請島）で震度2を観測しています。

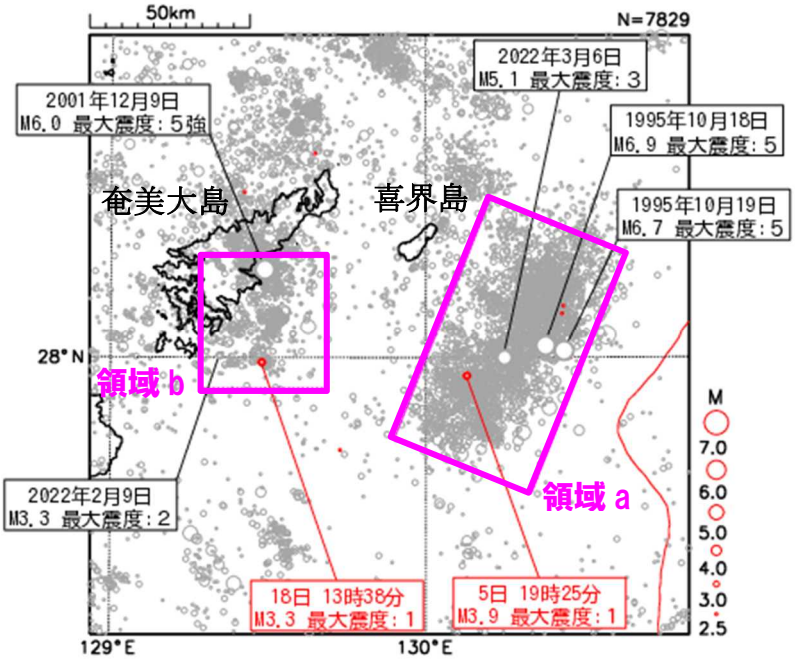
また、2001年12月9日に M6.0の地震では、住用村で震度5強を観測し、文教施設1棟、病院1箇所のほか、住家一部損壊1棟等の被害が生じています（被害は総務省消防庁による）。



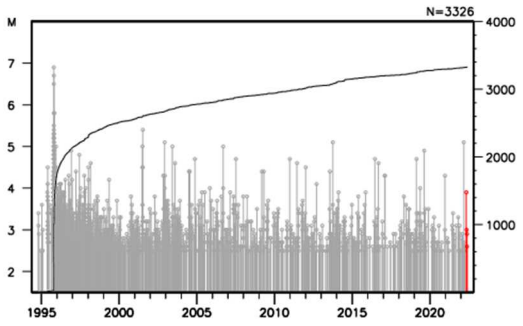
震度分布図（観測点別、× ：震央）
5 日 19 時 25 分　M3.9



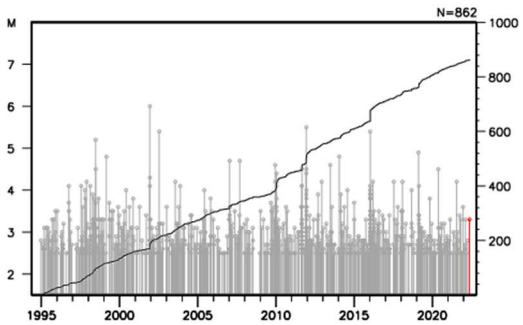
震度分布図（観測点別、× ：震央）
18 日 13 時 38 分　M3.3



震央分布図
（1994 年 10 月 1 日～2022 年 5 月 31 日、
深さ 0～60km、M2.5 以上）
赤色は 5 月に発生した地震



左図領域 a の地震活動経過図
および回数積算図



左図領域 b の地震活動経過図
および回数積算図

鹿児島内で震度1以上を観測した地震の表（5月1日～31日）

震源時（年月日時分）　震央地名　緯度　経度　深さ　ﾏｸﾞﾆﾁｭｰﾄﾞ 各地の震度
2022年05月02日16時08分　日向灘　31°35.5’N　131°49.0’E　22km　M5.0 震度　3：鹿屋市新栄町,鹿屋市串良町岡崎＊,大崎町仮宿＊,肝付町新富＊ 震度　2：鹿児島市東郡元,鹿児島市喜入町＊,鹿児島市桜島赤水新島＊,指宿市山川新生町 指宿市十町＊,南さつま市大浦町＊,南さつま市金峰町尾下＊,霧島市隼人町内山田 鹿児島空港,霧島市国分中央＊,霧島市福山町牧之原＊,南九州市知覧町郡＊ 姶良市蒲生町上久徳＊,姶良市加治木町本町＊,姶良市宮島町＊,鹿屋市札元＊ 鹿屋市輝北町上百引＊,鹿屋市吾平町麓＊,垂水市田神＊,東串良町川西＊ 錦江町田代麓,錦江町田代支所＊,錦江町城元＊,南大隅町佐多伊座敷＊ 南大隅町根占＊,曽於市大隅町中之内＊,曽於市末吉町二之方＊ 曽於市財部町南俣＊,肝付町北方＊,志布志市志布志町志布志 志布志市松山町新橋＊ 震度　1：鹿児島市下福元,鹿児島市本城＊,枕崎市高見町,薩摩川内市祁答院町＊ さつま町神子＊,日置市吹上町中原＊,いちき串木野市緑町＊ 南さつま市加世田川畑＊,霧島市横川町中ノ＊,南九州市頴娃町牧之内＊ 南九州市川辺町平山＊,伊佐市菱刈前目＊,志布志市有明町野井倉＊ 薩摩川内市上甑町＊
2022年05月05日19時25分　奄美大島近海　27°56.9’N　130°07.8’E　51km　M3.9 震度　1：喜界町滝川,奄美市笠利町里＊
2022年05月06日11時29分　薩摩半島西方沖　31°06.4’N　130°25.4’E 129km　M3.9 震度　1：鹿児島市喜入町＊,鹿屋市新栄町,鹿屋市札元＊,大崎町仮宿＊,錦江町田代支所＊
2022年05月10日10時59分　トカラ列島近海　29°19.0’N　129°11.9’E　12km　M3.0 震度　1：鹿児島十島村小宝島＊
2022年05月17日15時30分　熊本県天草・芦北地方　32°15.3’N　130°33.6’E　8km　M2.7 震度　1：伊佐市大口山野
2022年05月18日00時34分　奄美大島北東沖　29°38.0’N　130°35.2’E　40km　M4.6 震度　1：錦江町田代支所＊,鹿児島十島村中之島徳之尾,鹿児島十島村口之島出張所＊ 鹿児島十島村諏訪之瀬島＊,鹿児島十島村悪石島＊,南種子町中之上＊ 屋久島町小瀬田,屋久島町平内,屋久島町宮之浦＊
2022年05月18日13時38分　奄美大島近海　27°59.1’N　129°28.7’E　30km　M3.3 震度　1：瀬戸内町西古見,瀬戸内町請島＊,瀬戸内町加計呂麻島＊,瀬戸内町与路島＊ 奄美市名瀬港町
2022年05月20日09時08分　トカラ列島近海　29°19.6’N　129°34.1’E　6km　M2.5 震度　1：鹿児島十島村悪石島＊
2022年05月24日12時28分　トカラ列島近海　29°21.1’N　129°36.3’E　8km　M2.2 震度　1：鹿児島十島村悪石島＊
2022年05月31日04時32分　熊本県熊本地方　32°32.7’N　130°41.1’E　9km　M3.8 震度　1：阿久根市鶴見町＊,長島町鷹巣＊,長島町伊唐島＊,伊佐市大口鳥巣＊

・「＊」の付いた地点は、鹿児島県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点です。
・地震の震源要素（緯度・経度・深さ・M）は暫定値であり、データは後日変更することがあります。

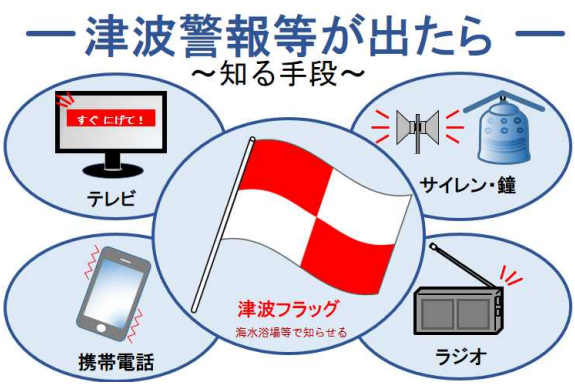
津波が来るぞ　すぐ避難！　ー「津波フラッグ」は避難の合図ー

海水浴場等で、「津波フラッグ」により津波警報等※1が発表されたことをお知らせする取組が行われています。

津波警報等は、テレビやラジオ、携帯電話、サイレン、鐘等、様々な手段で伝達されますが、令和２年夏から海水浴場等で赤と白の格子模様の旗「津波フラッグ」による視覚的伝達が行われるようになりました。「津波フラッグ」を用いることで、聴覚障害者の方や、波音や風で音が聞き取りにくい遊泳中の方などにも津波警報等の発表をお知らせできるようになります。**海水浴場や海岸付近で「津波フラッグ」を見かけたら、速やかに避難を開始してください。**

「津波フラッグ」は、令和 2 年夏に運用が開始されましたが、あまり知られてないのが実情です。最終的な目標は、「津波フラッグ」を見た際に、津波警報等が発表されていると誰もが認識し、直ちに避難する行動がとられるようになることです。そのために、まずは音が聞こえにくい状況である海水浴場で「津波フラッグ」による伝達が行われるように、自治体や海水浴場管理者のご理解・ご協力を得ながら、「津波フラッグ」の導入を進めるとともに、「津波フラッグ」を広く知っていただくために周知・広報活動を行います。

※1 ここでは大津波警報、津波警報、津波注意報を津波警報等としています。



【津波フラッグとは】
長方形を四分割した、赤と白の格子模様のデザインの旗です。

海岸の避難施設で津波フラッグを振っているイメージ
（公益財団法人　日本ライフセービング協会提供）
※旗を建物に掲げるなど他の手法でお知らせすることがあります

情報種類	津波注意報	津波警報	大津波警報		
定性表現	表記しない	高い	巨大		
予想される津波の高さ	1m (0.2m－1m)	3 m (1m－3m)	5 m (3m－5m)	10m (5m－10m)	10m超 (10m－)

津波は繰り返し襲ってきますので、津波警報等が解除されるまで安全な場所から離れないでください。